

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩国YMC A保健看護専門学校
設置者名	学校法人広島YMC A学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	保健看護学科	夜・通信	109 単位	12 単位	
	看護学科	夜・通信	66 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務局にて一般の方にも閲覧可能になっている。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩国YMCA保健看護専門学校
設置者名	学校法人広島YMCA学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務局にて一般の方にも閲覧可能になっている。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社社長・取締役	令和5年7月24日～令和9年7月23日	経営全般
非常勤	学習塾代表取締役会長	令和5年7月24日～令和9年7月23日	組織運営チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	令和5年7月24日～令和9年7月23日	財務
非常勤	病院副院長	令和5年7月24日～令和9年7月23日	組織運営チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩国YMCA保健看護専門学校
設置者名	学校法人広島YMCA学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学則に基づき、授業科目ごとに、単位数、時間数、学習目的、単元目標、評価方法、テキスト、参考文献等を記載している。</p> <p>年2回、外部委員を含めて教育課程編成委員会を開催し、カリキュラムや到達目標、成績評価等の内容について協議している。</p> <p>シラバスは、全学生と教員、非常勤講師他関係者に内容を説明し、配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	シラバス、学生便覧(事務局での閲覧可能)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>毎年、全学生と非常勤講師、教職員に「学生便覧」を配布している。</p> <p>その中の「履修および卒業認定等に関する規程」で、(授業科目、単位数及び時間数)(授業科目の履修方法)(単位の認定及び成績の評価)(終了試験)(追試験)(再試験)(筆記試験の方法)(実習の評価)(再実習)(補習実習)(再履修)(欠席・欠課)(公認欠席)等の項目で、履修に関することを細かく規定している。</p> <p>成績評価は原則として、各学期または授業科目の終了時に実施している。</p> <p>評価は100点法とし、60点以上で単位認定とする。成績の表示は4段階で、A(80~100点)B(70~79点)C(60~69点)D(60点未満)とし、C以上を合格として、単位認定をしている。</p> <p>やむを得ない事情で終了試験を受けられなかった者は追試験を受けることができる。終了試験・追試験で不合格となったものは当該科目の再試験を受けることができる。</p> <p>年度末には、学校の責任者と学科責任者で「単位修得・単位認定会議」を開催し協議を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学科の年次ごとに全履修科目の成績得点を合計し、平均点を算出したもので成績の順位を示している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>事務局受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校の「単位修得・卒業認定会議規程」に基づき、卒業認定会議を開催し、規定の単位履修が出来ている者について卒業の認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生便覧（事務局で閲覧可能）</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩国YMC A保健看護専門学校
設置者名	学校法人広島YMC A学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務局にて一般の方にも閲覧可能となっている
収支計算書又は損益計算書	事務局にて一般の方にも閲覧可能となっている
財産目録	事務局にて一般の方にも閲覧可能となっている
事業報告書	事務局にて一般の方にも閲覧可能となっている
監事による監査報告（書）	事務局にて一般の方にも閲覧可能となっている

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	保健看護学科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	<令和4年度以降> 3870時間/132単位	2535時間 /100単位	105時間 /4単位	1230時間 /28単位	0時間/0 単位	
		<令和3年度以前> 3870時間/126単位	3870時間/132単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		139人	0人	12人	57人	69人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3に記載
成績評価の基準・方法
（概要） 出席日数は講義、臨地実習ともに規定時間の3分の2以上の出席 成績は4段階評価でA（80～100点）B（70～79点）C（60～69点）D（60点未満） とし、C以上を合格としている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 最終学年は2月、その他の学年は3月に「単位修得・単位認定会議」を開催し、卒業・進級の認定を行っている。卒業はすべての科目が単位認定と出席日数を満たしていることが基準となる。

学修支援等
(概要) 各学年で担任制をとっており、個別指導を行っている。問題のある学生については、保護者との連携を密にし、メンタルヘルスが関わることについては学校のスクールカウンセラーの協力を得ている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0 %)	29人 (90.6 %)	3人 (9.4 %)
(主な就職、業界等) 病院、保健所			
(就職指導内容) 本人の希望を重視し、就職先の支援を行っている			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家試験合格率 看護師 90.6% 保健師 84.4%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
147 人	5 人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、保護者との面談、スクールカウンセラーの活用 学力面では、個人指導		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2205 時間/74 単位	1485 時間 /57 単位	30 時間/1 単位	690 時間 /16 単位	0 時間/0 単位	0 時間/0 単位
			2205 時間/74 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		40 人	0 人	7 人	38 人	45 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 に記載
成績評価の基準・方法
（概要） 出席日数は講義、臨地実習ともに規定時間の 3 分の 2 以上の出席 成績は 4 段階評価で A（80～100 点） B（70～79 点） C（60～69 点） D（60 点未満） とし、C 以上を合格としている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 最終学年は 2 月、その他の学年は 3 月に「単位修得・単位認定会議」を開催し、卒業・進級の認定を行っている。卒業はすべての科目が単位認定と出席日数を満たしていることが基準となる。
学修支援等
（概要） 各学年で担任制をとっており、個別指導を行っている。問題のある学生については、保護者との連携を密にし、メンタルヘルスが関わることについては学校のスクールカウンセラーの協力を得ている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	1 人 (5.6 %)	17 人 (94.4 %)	0 人 (0 %)
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容） 本人の希望を重視し、就職先の支援を行っている			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家試験合格率 看護師 100%			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	1 人	2.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、保護者との面談、スクールカウンセラーの活用 学力面では、個人指導		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保健看護学科	150,000 円	800,000 円	250,000 円	
看護学科	150,000 円	650,000 円	250,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学内で「自己点検・自己評価委員会」を月 1 回開催し、自己点検の評価基準や評価結果について検討を行っている。毎年教職員全員で自己評価を実施しており、評価結果は、学校関係者評価委員会で協議し、その結果をホームページに掲載している。 ホームページ： https://www.iwakuni-ymca.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 「学校関係者評価委員会規程」を作成し、規程に基づき年 2 回開催している。 外部委員 5 名、学内から 4 名の構成メンバーで、目的は「教育活動や学校運営を評価することにより、より良い学校運営を目指す」としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
卒業生の保護者	2 年	病院の事務職
卒業生(病院の管理職)	2 年	主任看護師
卒業生(病院の管理職)	2 年	総看護部長
介護老人保健施設	2 年	事務長
病院	2 年	事務部長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iwakuni-ymca.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.iwakuni-ymca.jp/>